



# 辻川だより

第2号 [2007夏号] 平成19年7月7日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]  
〒679-2204 福崎町西田原 1227  
TEL 0790-22-5763  
ホームページ <http://www10.plala.or.jp/tujukawa/public.html>

## 『ボランティアガイド養成講座』始まる

区長 釜坂道弘

昨年10月に辻川界限ウォークラリーを開催しました。この日は町内外から多くの参加者(約350名)をお迎えして、我が辻川界限の歴史や文化についてその魅力を紹介しました。当日の案内役“辻川ボランティアガイド”をお願いしたのは辻川の女性の方々10数名でした。

今年、「辻川界限まちづくり交流会」が幅広く町内からボランティアガイド養成講座の受講生を募集したところ、男女合わせて20名の応募がありました。5月17日の第1回を皮切りに、来年2月までに計12回の講座が予定されています。

このボランティアガイド活動は地域の紹介にとどまらず、地域の交流や活性化に非常に重要な役割を果たすと考えます。受講生の皆さんが日頃から地域に関心を持ち、新たな知識の習得に努められることを期待するとともに、その活動が辻川区全体に広がっていくことを願っています。

### 辻川界限まちづくり交流会とは?

辻川区、辻川区商工部会、福崎町商工会、福崎町観光協会で作る機関。昨年末の鈴の森神社大絵馬設置も同交流会による事業。今回は観光ボランティアガイド養成講座を主催している。



5月13日  
もち麦と  
有井堂

もち麦は6月  
8日に刈り取  
られた

## 協議委員会は今

5月・6月定例協議委員会での審議および報告事項を一部紹介します。

- ① 辻川薬師山霊園規則等整備・総会開催・六地藏山側樹木伐採
- ② 町営住宅跡地の返還要求→井ノ口は返還を求めず。辻川のみで進めることになる。
- ③ 大野歯科東側水路底のコンクリート打設完了
- ④ 辻川区防犯グループ登録
- ⑤ 秋祭り委員の委嘱(保存委員会と検討委員会を別組織に)
- ⑥ NTT 西側の民地について福崎町と辻川区と開発会社の三者で開発協定を取り交わす。
- ⑦ 田原小学校創立100周年記念事業に関する募金→6月中旬に協議委員とPTA役員が集金
- ⑧ 山口堂屋根や鈴の森神社北西の玉垣修復に関する年次計画検討等々

## 当面の予定

7月◆フラワーポット植え替え

◆辻川界限展 [7/29~8/5]

文芸作品展示・隣保七夕飾り他

8月◆民俗学の夕べ [8/4] 予定時刻

6:40 人形劇 7:10 マジックショー

7:40 太鼓と獅子舞 8:00 猿回し(前半)

8:15 笛の演奏 8:20 猿回し(後半)

8:40 餅つきばやし 9:00 辻川鬼太鼓

6:00~ 夜店(7団体)もお楽しみに!

[文化担当(上延)]

◆クリーン作戦 [8/5]

◆自治会対抗親善ソフトボール大会

9月◆各種団体・隣保長会議

## 宮当番より祭礼行事のお知らせ

◆7月8日(日) 夏戎(えびす)

・10時に神主様お祓(はら)い

◆7月16日(祝) 夏まつり

・9時30分に神主様お祓い

皆様お誘い合わせの上、多数お詣りください。 [7隣保 鈴木]

## 事業報告

◆4月7日(土)

隣保長・各種団体会議 が開催されました。内容はすでに各隣保長さん等から連絡済と思いますので省略します。

◆4月25日(水)

「銀の馬車道」観光案内板設置

西播磨県民局から全額補助を受け、もちむぎのやかた南(1隣保)に設置されました。辻川界限の案内つき。一度お運び下さい。



◆4月29日(日)

辻川薬師山霊園総会 が8年ぶりに開催されました。「規約の改正」

「会計報告」等を承認。今後の取り組みとして東・北側斜面の崩落防止対策が強く求められました。また、空き区画の募集を行ったところ6人の申し込みがありました。残りの空き区画は5区画。必要な方はお申し込み下さい。 [小谷]

◆5月3日(憲法記念日)

「民俗 辻 広場まつり」(福崎町・

福崎町教育委員会主催) がゴール

デンウィークを楽しむ親子連れら約

2000人(5/4 神戸新聞による)で

にぎわった。辻川区も共催団体として、

景気づけの「ボン菓子屋」と

「コーヒー屋」で出店参加。協議委員

員を中心に岡本さん、「角屋」さんの

全面的協力を得、200袋のボン菓子

を完売した。今年(3/30)、柳田國男

さんの生家が「風景観形成重要建造

物等」に指定されたことや県が力を入

れている「銀の馬車道」事業も相

まって、ますます辻川区に注目が集まりそう・・・



バ  
ッ  
ン!

◆5月13日(日) 溝普請

田植え前の風物詩。秋祭り前の道普請とともに、季節感を残す年中行事としてこれからも大切にしていきたいものです。



◆5月26日(土)

老人会と子供会による鈴の森神社とその周辺の清掃が行われました。

◆6月10日(日)・17日(日)

田原校区子供会 球技大会

ソフトボール(男子) 2位

決勝では中島に1-5で敗れるも7月15日の福崎町大会へ。

バレーボール(女子) 4位

男女ともによく頑張りました。

お  
め  
で  
と  
う  
!!



辻川の歴史スポット

鈴の森神社は、**安産の神様?!**

■鈴の森神社には学問や産業の神様が祀られているが、安産の神社としても氏子から慕われている。その“いわれ”と昔の風習を尋ねてみた。



《いわれ》

\*記念館の伊藤原五さん〔11 隣保〕

言い伝えによると、神功(じんこう)皇后〔仁徳天皇の祖母、4世紀後半の伝説的人物、応神天皇を懐妊したまま新羅に遠征しこれを征服。瀬戸内の各地にはその伝承が残る〕が辻川(鈴の森)を通られたときに古宮で腹帯(はらおび)を締め直されたことから安産の神社になったそうだ。

《昔の風習》

明治15年頃

\*柳田國男著「故郷七十年」より

『村人は赤ん坊が生まれると、みなその氏神に詣でて小豆飯を供えていた。その余りを一箸ずつ、集まって来た子供たちのさし出す掌の上ののせるのがならわしであり、村の童たちの楽しみでもあった。前もって、その日を知って、童たちは神社へ集まってくるのであった。母親が「よろしく願いますよ」と、いいながら呉れる一箸の赤飯に、・・・』

大正~昭和20年代中頃

\*松岡為一さん〔大正9年生、3 隣保〕

『お産が近づくと父親が鈴の森神社にすでに奉納してあった「さらし」の端を少し裂いて持ち帰り、母親の手首に安産を祈って巻き付けた。お産が無事終ると、新しい「さらし」1本に親子の名前を書き、お礼詣りをした。本殿前の鈴の取り付けには紅白の「さらし」がたくさんぶら下がっていた。』

母親が教えてくれたと、ご自分の子どもさんの時にも同じようにお詣

りをされたそうだ。もちろん当時のお産は自宅で産婆さんの手助けで行われていた。

なお、前出の伊藤さんによると、『奉納してある「さらし」そのものを1本持ち帰り、妊婦の腹帯とした。出産後には2本を奉納(倍返し)した』という話を昔、聞かれたことがあるそうだ。

『山崎断層と地震』

第2回 山崎断層とは

□ 6つの部分断層からなる断層系

山崎断層は岡山県の北東部から福崎町を経て小野市・三木市へ延びる全長87kmの活断層である。正確には6つの部分断層(大原・土万(ひま)・安富・暮坂峠・琵琶甲(びわこう)・三木)からなる断層系とみられている。山崎町から福崎町にかけては中国道に沿って明瞭な断層地形(安富断層)が認められるが、市川流域では途切れてはっきりと分らない。

□ 山崎断層は活断層

県道三木-山崎線沿いには大きな川がないにもかかわらず谷地形が続いている。これは大地に加わる力が岩石を破壊し(=断層を形成し)、その弱線に沿って風化・侵食が進行したためである。現地表に断層によるズレ(地形)を残している断層を活断層といい、今後も活動する可能性が高い。日本列島には活断層が2000本以上あるといわれている。断層帯には破碎された岩石が広がり、地下水が集まりやすい。その結果、昔から街道ができやすく、人が集まることになる。シルクロードとオアシスもしかりである。

□ 塩田温泉は山崎断層の裂か泉

断層は一般に地下深部では1本でもその割れ目が地表に近づくと枝分かれし、何本もの副断層を形成する。集まった地下水がその副断層の1本に沿って湧き出した冷鉱泉が塩田温泉である。六甲山塊の北縁に延びる活断層(有馬-高槻構造線)に沿って湧き出す有馬温泉とよく似ている。 [田崎]

編集後記

多くの協力を得て第2号が発行できました。次号では“古宮”か辻川区に残る石碑の特集を組みたいと思っています。